

## 第 55 回定時総会会長ご挨拶

2026 年 5 月 20 日  
日本製紙連合会  
会長 磯野 裕之

このたび、日本製紙連合会の会長に就任いたしました磯野裕之でございます。会長就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、我が国を取り巻く状況は、小幅な変動を伴いながら緩やかに回復をしておりますが、物価高や個人消費の停滞は続いております。

また、米国の大統領交代以降の関税政策は、各国の経済や政策に大きな影響を及ぼしており、先行きは依然として不透明な状況であります。

さらに、本年 2 月末に勃発した米国・イスラエルとイランの戦争は終息の兆しが見えません。

ホルムズ海峡など重要海域での緊張や封鎖により、燃料価格の高騰や輸送コストの上昇が顕在化しておりますし、製造工程において使用する石油製品由来の多くの副資材の供給不安も生じております。

しかしながら、当業界におきましては、引き続き国民生活に不可欠な紙・板紙製品の供給責任を果たしていく使命がありま

す。

政府には、原油・ナフサ等の調達多様化、石油関連製品の流通の偏り・目詰まり対策等の万全の措置を引き続き図っていただけるよう切にお願いする次第です。

ところで紙・板紙需要ですが、本日ご出席の皆様もご承知のとおり、グラフィック用紙の減少傾向は底打ち感が見えません。段ボール原紙を中心としたパッケージ用紙も、国内消費を中心とした内需停滞の影響から減少傾向にあり苦戦をしております。衛生用紙こそ需要は比較的堅調ですが、輸入紙の増加は国内事業者にとっては大きな脅威であり、総じて全体での回復感には乏しい状況と言えます。

会員各社は、それぞれの強みを一層発揮するために、以下の取り組みを進めております。

- ・ 需要に見合った生産体制の再構築
- ・ 再生産可能な製品価格の維持
- ・ 海外の成長市場における需要取り込み
- ・ バイオマス原料である木材資源を有効活用した新素材・新燃料の開発など

これらを通じて、持続可能な経営基盤の創出に向けた努力を続けております。

日本製紙連合会と致しましては、会員企業の懸命な経営努力が結実し、持続可能な発展が図られるよう、事業環境を整備し

紙パルプ産業の産業価値・評価を高めていくことが重要であると考えています。

連合会の事業は、会員が行う事業に関連する調査・広報事業等の継続的な事業が基盤となります。

その中でも最重要と位置付けるのは、地球温暖化問題への対応です。世界の平均気温の上昇を受け、世界各地で発生する自然災害は多大な経済損失を生むばかりでなく、人類の安全な生活と健康を脅かす事態にも及んでおります。

当業界といたしましては、本年度に本格稼働する排出量取引制度をはじめ政府のGX政策に対応していかなければなりません。

加えて、2030年度のCO<sub>2</sub>削減目標や2050年生産活動におけるカーボンニュートラルを目指す長期ビジョンの達成に向け、着実に歩みを進めていかなければなりません。

さらには、紙・板紙製品の安全性を担保していく取組として、食品用途の紙・板紙に使用する化学物質ポジティブリスト化は、本年度、その運用を開始していく予定であります。

また、繰り返しになりますが、イラン情勢の動向が見通せない中でも、引き続き国民生活に不可欠な紙・板紙製品の供給責任を果たしてまいります。

その他、適切なサプライチェーンを維持するため、取引の適正化や物流対策に努めております。また、人手不足が当業界で

顕在化している現状を踏まえ、外国人材の活用を目的に「特定技能」等への新規産業分野追加に向け、関係当局との調整を進めてまいります。

以上の重点事業に加え、SDGs 達成に向けた対応、広報活動の展開にも注力いたします。

連合会の基本的任務である統計業務や調査業務、製紙関連団体との連携等、2026 年度に行う事業につきましては、先ほど理事長から概要の説明がありましたので詳細は省略いたします。

いずれの事業も、質の向上を図りながら着実に活動してまいります。

当業界が製造する製品は、自然資本でもある森林を源泉としております。森林から生まれる木材は再生可能な資源であるとともに、森林は CO<sub>2</sub> の吸収・固定による温暖化の抑制をはじめ、バイオマス原料として大きなポテンシャルを持っております。それ以外にも、森林には水源涵養、生物多様性等、公益的機能があります。

森林を適正に維持・管理しながら木材を利用し、さらには製品を高度なりサイクルシステムの中で活用しているビジネスモデルは、当産業の大きな強みでもあります。

紙・板紙の需要減少など社会構造の変化を受け、業界を取り巻く環境は大きく変化しております。

そのような中、当業界は持続可能な社会構築の実現に向け、

カーボンニュートラルや循環型社会の形成、さらにはネーチャーポジティブへの貢献といった未来志向型の産業として、重要な役割を果たしていけるものと確信しております。

最後になりますが、本日ご臨席頂いております経済産業省、林野庁はじめとした政府や関係諸機関とも連携し、山積する様々な課題の克服に向けて、会員各社と一体となって積極的な事業を展開してまいります。

会員各位の一層のご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げ、私の就任挨拶と致します。

以上